



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年12月9日朝刊

県は8日、県農林技術研究所果樹研究センター（静岡市清水区）が開発した、温暖な気候に耐性のある新品種の温州（うんしゅう）ミカンを「春しずか」と命名したと発表した。収穫時期が通常のミカンより約1カ月遅く、長期貯蔵も可能などから、ミカンが品

県は8日、県農林技術研究所果樹研究センター（静岡市清水区）が開発した、温暖な気候に耐性のある新品種の温州（うんしゅう）ミカンを「春しずか」と命名したと発表した。収穫時期が通常のミカンより約1カ月遅く、長期貯蔵も可能などから、ミカンが品

薄となる春先の出荷が期待できる。

2023年度に品種登録し、27年度に一般販売の開始を計画する。浜松市三ヶ日や静岡市清水区などで試験栽培に取り組み、来年度から県内農家向けに苗を生産、販売していく。

春しずかは果皮が丈

県開発ミカン 春先出荷に期待

新品種名「春しずか」

①「春しずか」は何の品種名ですか。

()

②静岡県産のミカンの主力品種は何ですか。

()

③静岡県のミカン栽培はどんな点が課題になっていますか。

[]

④「春しずか」の特徴を箇条書きで2つ以上、書きましょう。

[]

温州ミカンの新品種「春しずか」

夫で、気温が上がると果皮と果肉が分離する「浮き皮」が発生しにくいのが特徴。果実の成熟が遅く、長期熟成しても糖度や酸味を本県産の主力品種「青島温州」と同水準に保てることで、ミカンの流通量が減少する3〜4月に販売することができる。

年末から翌年2月に生産のピークを迎える青島は近年の気候変動の影響で、浮き皮が目立つようになっているという。繁忙期が集中することで、収穫に必要

春しずかの開発は、01年度から同センターと理化学研究所が共同で進め、18年度に育成する品種を選抜した。県は、県内のミカン樹木は老齢化が進んでいることから、青島を補完する品種として植え替える提案していく。「高単価で市場に売り出し、労働力分散にもつながる期待がある」（農芸振興課）としている。

（経済部・平野慧）



年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校／社会、総合）



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年12月9日朝刊

県は8日、県農林技術研究所果樹研究センター（静岡市清水区）が開発した、温暖な気候に耐性のある新品種の温州（うんしゅう）ミカンを「春しずか」と命名したと発表した。収穫時期が通常のミカンより約1カ月遅く、長期貯蔵も可能などから、ミカンが品

県は8日、県農林技術研究所果樹研究センター（静岡市清水区）が開発した、温暖な気候に耐性のある新品種の温州（うんしゅう）ミカンを「春しずか」と命名したと発表した。収穫時期が通常のミカンより約1カ月遅く、長期貯蔵も可能などから、ミカンが品

薄となる春先の出荷が期待できる。2023年度に品種登録し、27年度に一般販売の開始を計画する。浜松市三ヶ日や静岡市清水区などで試験栽培に取り組み、来年度から県内農家向けに苗を生産、販売していく。春しずかは果皮が丈

県開発ミカン 春先出荷に期待

新品種名「春しずか」



温州ミカンの新品種「春しずか」

年末から翌年2月に生産のピークを迎える青島は近年の気候変動の影響で、浮き皮が目立つようになってきている。繁忙期が集中することで、収穫に必

夫で、気温が上がると果皮と果肉が分離する「浮き皮」が発生しにくいのが特徴。果実の成熟が遅く、長期熟成しても糖度や酸味を本県産の主力品種「青島温州」と同水準に保てることで、ミカンの流通量が減少する3〜4月に販売することがで

要な人手の不足も深刻化している。春しずかの開発は、01年度から同センターと理化学研究所が共同で進め、18年度に育成する品種を選抜した。県は、県内のミカン樹木は高齢化が進んでいることから、青島を補完する品種として植え替える提案していく。「高単価で市場に売り出し、労働力分散にもつながる期待がある」（農芸振興課）としている。（経済部・平野慧）

①「春しずか」は何の品種名ですか。

（ 温州（うんしゅう）ミカン ）

②静岡県産のミカンの主力品種は何ですか。

（ 「青島温州」 ）

③静岡県のミカン栽培はどんな点が課題になっていますか。

（例）気候変動の影響で、浮き皮が目立つようになっている。

（例）繁忙期が集中することで、収穫に必要な人手の不足も深刻化している。など

④「春しずか」の特徴を箇条書きで2つ以上、書きましょう。

（例）

- ・収穫時期が通常のミカンより約1ヶ月遅く、長期貯蔵も可能。
- ・ミカンが品薄となる春先の出荷が期待できる。
- ・果皮が丈夫で、（気温が上がると果皮と果肉が分離する）「浮き皮」が発生しにくい。
- ・果実の成熟が遅く、長期熟成しても糖度や酸味を保つことができる。 などから2つ以上

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校／社会、総合）